

反映状況票

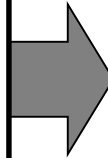
(単位:百万円)

府省名	調査事業名	調査主体	取りまとめ財務局	3年度予算額	4年度予算案	増▲減額	反映額
国土交通省	(32) 出入国の円滑化に係るシステム等	本省	—	4,084	2,905	▲1,179	—
事案の概要	最先端技術を活用した顔認証ゲート及び個人識別情報システム並びに先進的手法であるバイオカードを運用することで、ポストコロナ時代を見据えて、出入国審査手続の迅速化を図り、ストレスフリーの環境を実現するとともに、訪日外国人旅行者の本邦滞在時間を確保し、観光消費の増加を促進するために実施するものである。						

調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

個人識別情報システムの導入効果及び効果検証について

令和2年度の個人識別情報システムの刷新に要する費用については、現状では入国審査待ち時間の短縮政策効果が薄い刷新内容が含まれており、この部分については、国際観光旅客税の税込（以下「観光財源」という。）を充当する施策として適切とは言えない部分があり、効果を見極めた上で、事業の見直しを検討すべき。



反映の内容等

個人識別情報システムの導入効果及び効果検証について

個人識別情報システムの導入に必要な経費は、観光財源を活用した「国際観光旅客税財源観光振興費」として予算措置され、かつ、令和元年度及び令和2年度から5年間の国庫債務負担行為が認められている。仮に、用途の定めのない一般財源での事業へ移行するとした場合の移行に適したタイミングとしては、次期システムへのリプレースを見据えて令和6年度及び令和7年度以降が考えられるため、引き続き効果を見極めつつ、一般財源への移行も含め事業の見直しについて検討を進める。